

1 県の概要 (H30年度)

| | | |
|------|-----------|----|
| 人口 | 1,780,079 | 人① |
| 高齢化率 | 30.6 | %② |
| 保護率 | 1.4 | %③ |

①平成31年1月1日住民基本台帳人口動態統計
②平成30年10月1日現在 県・推計人口調査(年報)
③令和元年5月 熊本県の生活保護(速報値)

2 参加自治体 (H30年度)

| | |
|---------------------|------|
| 県内一般市数 | 13市 |
| 参加一般市数 | 12市 |
| 県内子どもの学習 援助事業実施率 | 100% |

3 実施方法について

実施方法 委託(生活困窮者及び生活保護の被保護者の子ども等小1から18歳に達した後3月31日までを対象)①単年契約、②企画コンペ方式による選定後随意契約[熊本県(県管轄の23町・8村)と12市の共同実施](共同実施自治体の人口996,700人)

事業費 31,457千円(平成30年度総額)
(共同実施事業分24,973千円+熊本地震対策分6,484千円)

委託選定 ノウハウを持ち、専門知識を有する支援員を配置可能な、かつ共同実施の市を含めた県下全域で事業を実施できる法人に委託する。

実施体制 ・社会福祉法人と学校法人の共同体へ事業を委託し実施。教育分野と福祉分野のノウハウや専門性を生かした支援を実施。
・県北・県央・県南のそれぞれの区域に拠点を置き、教室運営責任者1名と各拠点に教育支援員を1名以上配置。各区内に偏りが生じないよう事業利用者の近くの施設でサテライト方式塾形式及び家庭訪問支援で実施。

主な取組 【生活困窮者支援に向けた事業目標】学ぶ楽しさ・喜びを知り、夢や希望を持つことができる子どもの支援 ～基礎学力の定着と家庭の安定・自立～
～子ども・保護者が安心して通える居場所づくり～
【支援内容】
学習支援：宿題、授業の復習、補充学習、テスト対策、入試対策
相談支援：進路相談、子育て相談、関係機関の紹介やキャリア教育等
ひきこもりや不登校の子どもへの支援
：家庭訪問、学習教室を学校や社会参加へのステップに利用してもらう。

高校生世代に対する支援(中退防止) 学 習 支 援：宿題、授業の復習、テスト対策、通信制高校のレポートや資格取得のサポート
生活・相談支援：面談や電話やメール等での近況確認。(登校状況、アルバイト、提出物等)必要に応じて、助言や専門職(キャリアカウンセラー、臨床心理士等)によるカウンセリングを行う。

熊本地震被災者に向けた県の取組 被災し仮設住宅等への避難を余儀なくされ、学習の機会を逸した生活保護、生活困窮世帯の子どもに対し、集会所等に指導員や学生ボランティア等を派遣し、①子どもの進学に関する支援、②子どもや保護者への生活習慣形成への支援③不登校やひきこもりの子どもに対する支援などを塾形式で、被災した環境においても将来の「夢」を叶えるよう取り組む。

4 事業実績 (H30年度)

| 実利用者数 | 小学生 | 中学生 | 高校生 | その他 | 計 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 生活困窮 | 99 | 50 | 12 | 0 | 161 |
| 生活保護 | 37 | 35 | 8 | 0 | 80 |

※教室数：共同51か所 地震9か所 計60か所(重複1か所)

5 体験学習

食育
～食に関する知識を習得し、健全な食生活を実現する～



栄養指導



そうめん流し



ピザづくり



カレーづくり

職場体験
～職業や働くことについて考える～



阿蘇くまもと空港



企業訪問①



企業訪問②



お金の学習

自然体験
～自然や動物を慈しむ～



地引網体験



サツマイモ苗植え



川遊び体験



海岸散策

製作活動
～物をつくりあげる喜びを知る～



印鑑づくり



寄せ植え



勾玉づくり



クリスマスリースづくり

6 取り組んで良かった点

- 学習支援を通して、長期の不登校状態から脱却し、将来への自立への道筋が見えた。
- 子どもの頑張りに影響されて、仕事復帰を果たした保護者もおられた。
- この学習教室を一つの居場所として、楽しみにされる子ども達もおられた。

